



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社遠藤製作所

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,837	△10.8	1,234	35.6	1,331	44.6	1,054	426.3
28年3月期第3四半期	9,904	△4.7	909	—	921	418.5	200	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △292百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △954百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	120.82	—
28年3月期第3四半期	22.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,917	12,907	76.3
28年3月期	17,561	13,269	75.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 12,907百万円 28年3月期 13,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,418	△9.3	1,337	50.1	1,487	66.1	1,091	—	124.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	9,441,800 株	28年3月期	9,441,800 株
29年3月期3Q	711,871 株	28年3月期	711,871 株
29年3月期3Q	8,729,929 株	28年3月期3Q	8,730,002 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外経済への下振れ懸念等から、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、前期までのゴルフ事業の抜本的改革が一巡し、利益体質を確実なものとするべく、全社で生産効率の向上、受注の拡大に努めるとともに、一層のコストの低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は88億37百万円（前年同期比10.8%減）となりました。利益面につきましては、ゴルフ事業の構造改革の成果から、コスト低減や効率化が進んだことに加え、為替レートが想定より円高に推移し輸入コストの低下等から、営業利益12億34百万円（同35.6%増）、経常利益13億31百万円（同44.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億54百万円（同426.3%増）と大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、前期のメタルウッドヘッド工場の合理化から、メタルウッドヘッドの受注数は減少したものの、アイアンヘッドの受注増加があったこと、またコスト低減や円高による輸入コストの低下等、売上高36億91百万円（同7.4%増）、営業利益6億40百万円（同556.8%増）となりました。

(ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、新規販路の取引拡大及び生産性の向上・製造原価の低減等に取り組みましたが、OA機器市場の低迷から取引先の在庫調整による受注数の減少等で、売上高9億40百万円（同24.0%減）、営業利益3億37百万円（同33.1%減）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、タイ国の自動車産業の回復が遅れる中、生産効率向上等の改善活動や徹底したコスト削減等に努め、売上高42億5百万円（同19.6%減）、営業利益5億95百万円（同7.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、169億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億44百万円減少いたしました。

流動資産は、106億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億17百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、62億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億62百万円減少いたしました。この主な要因は、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

負債合計は、40億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円減少いたしました。

流動負債は、28億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、11億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少いたしました。この主な要因は、社債の減少等によるものであります。

純資産合計は、129億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億62百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月28日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,183,943	5,990,788
受取手形及び売掛金	2,084,588	2,888,736
商品及び製品	700,629	693,237
仕掛品	453,749	412,268
原材料及び貯蔵品	563,014	553,401
繰延税金資産	21,096	11,034
その他	129,257	107,178
貸倒引当金	△13,101	△15,541
流動資産合計	10,123,178	10,641,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,570,744	2,134,196
機械装置及び運搬具(純額)	2,270,317	1,681,480
工具、器具及び備品(純額)	96,913	89,187
土地	1,551,072	1,425,927
建設仮勘定	117,070	76,070
有形固定資産合計	6,606,117	5,406,862
無形固定資産	29,252	24,977
投資その他の資産		
投資有価証券	92,644	126,324
投資不動産(純額)	252,786	250,372
退職給付に係る資産	426,345	441,240
長期未収入金	229,337	218,196
その他	32,638	27,167
貸倒引当金	△230,342	△218,496
投資その他の資産合計	803,409	844,805
固定資産合計	7,438,779	6,276,645
資産合計	17,561,958	16,917,749

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	801,679	811,391
短期借入金	887,740	629,760
1年内償還予定の社債	600,000	500,000
未払法人税等	181,380	121,564
未払金及び未払費用	335,864	351,418
賞与引当金	50,961	227,218
その他	81,488	188,805
流動負債合計	2,939,114	2,830,158
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	287,240	652,380
繰延税金負債	218,387	198,561
退職給付に係る負債	177,492	172,520
役員退職慰労引当金	58,026	63,416
資産除去債務	61,039	45,984
その他	51,415	47,703
固定負債合計	1,353,601	1,180,567
負債合計	4,292,715	4,010,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	10,150,745	11,135,652
自己株式	△281,968	△281,968
株主資本合計	12,300,439	13,285,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	23,476
為替換算調整勘定	968,735	△401,798
その他の包括利益累計額合計	968,803	△378,322
純資産合計	13,269,242	12,907,023
負債純資産合計	17,561,958	16,917,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,904,216	8,837,784
売上原価	7,819,208	6,518,893
売上総利益	2,085,007	2,318,890
販売費及び一般管理費	1,175,016	1,084,598
営業利益	909,991	1,234,292
営業外収益		
受取利息	25,481	23,216
受取配当金	2,076	2,286
投資不動産賃貸料	27,523	16,898
為替差益	30,766	47,178
助成金収入	12,900	47,355
その他	18,628	34,093
営業外収益合計	117,375	171,029
営業外費用		
支払利息	31,667	13,698
減価償却費	8,643	13,272
シンジケートローン手数料	14,149	13,878
貸倒引当金繰入額	41,909	—
固定資産除却損	139	16,287
その他	9,688	16,377
営業外費用合計	106,198	73,513
経常利益	921,169	1,331,807
特別損失		
減損損失	186,786	—
事業再編損	195,619	—
特別損失合計	382,406	—
税金等調整前四半期純利益	538,762	1,331,807
法人税、住民税及び事業税	294,888	238,107
法人税等調整額	43,474	38,954
法人税等合計	338,362	277,062
四半期純利益	200,400	1,054,745
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,400	1,054,745

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	200,400	1,054,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,176	23,408
為替換算調整勘定	△1,155,800	△1,370,534
退職給付に係る調整額	△16,549	—
その他の包括利益合計	△1,155,173	△1,347,125
四半期包括利益	△954,773	△292,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△954,773	△292,379
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,437,912	1,237,991	5,228,311	9,904,216	—	9,904,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,650	—	—	7,650	△7,650	—
計	3,445,562	1,237,991	5,228,311	9,911,866	△7,650	9,904,216
セグメント利益	97,543	505,138	554,250	1,156,932	△246,940	909,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△246,940千円には、セグメント間取引の消去△7,650千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,290千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、4,734千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、182,051千円であります。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,691,047	940,754	4,205,982	8,837,784	—	8,837,784
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,650	—	—	7,650	△7,650	—
計	3,698,697	940,754	4,205,982	8,845,434	△7,650	8,837,784
セグメント利益	640,707	337,984	595,552	1,574,244	△339,952	1,234,292

(注) 1. セグメント利益の調整額△339,952千円には、セグメント間取引の消去△7,650千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△332,302千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。